

科目名	スポーツ自由研究A							年度	2025
英語科目名	Sports training practicum A							学期	前期
学科・学年	スポーツ健康学科 サッカーコース 1年次	必／選	選※	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	八重樫、志佐	教員の実務経験		有	実務経験の職種		クラブチームにてサッカーコーチとして従事		
【科目の目的】 体育祭およびスポーツ・医療カレッジのイベントにおいて、スタッフ等のボランティア活動を行い、主体的にイベント運営に携わることを目的とする。									
【科目の概要】 スポーツに関することをさまざまな角度から捉え、実態や動向を明確にし、その意義・本質などを見極め理解を深めます。									
【到達目標】 学生が1つの事柄の成功に向かって、準備～撤収までを協力して行うことを目標にしています。①体育祭などを通じて、スポーツ・医療カレッジが担う業務・運営を行い、成功に導くことを目標とします。②スポーツ活動・スポーツイベントにおけるボランティア活動（スタッフ実務など）を行い、スポーツの理解を深めることを目標とします。 A. イベントの成功に向け、スケジュールを逆算し、計画的な行動をすることができる B. イベントの成功に向け、自身の成長に向き合い、主体的に役割を果たすことができる									
【授業の注意点】 授業時数の4分の3以上出席しない者は評価することができない。体育祭は、スポーツ・医療カレッジだけではなく、日本工学院八王子専門学校全体の行事となる。科目履修としてだけではなく、学内活動の参加として積極的に行動すること。スポーツ活動やスポーツイベントは、様々な方と関わるため、積極的な態度で行動すること。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	イベントの成功に向け、スケジュールを逆算し、計画的な行動をすることができる		イベントの成功に向け、スケジュールを逆算した行動をすることができる		イベントの成功に向け、行動をすることができる				
到達目標 B	イベントの成功に向け、自身の成長に向き合い、主体的に役割を果たすことができる		イベントの成功に向け、少しでも主体的に役割を果たすことができる		イベントの成功に向け、指示を受ければ、役割を果たすことができる				
到達目標 C									
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】 配布プリント									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題を総合的に評価する。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

